

まえがき

いつもいつも子どものことを一番に考え、大切にしている「いつもお母さん」。自分の心・体・時間をすべて子どものために使っている「いつもお母さん」。それは子どものケアマネージャー・教育者・シェフ・栄養士・看護師・しつけ担当者・そしてお父さんと並んで世界で子どもを一番愛している人。「いつもお母さん」のおかげで、子どもたちは健康に、元気に育っていきます。大変だけど、この世で一番価値のある「人間を育てる」お仕事—それが「いつもお母さん」のお仕事。

ところが、「いつもお母さん」を取り巻く環境は、年々大変になっています。3世代同居も減りました。子育ての相談のできる家族は、ほとんどいない状況です。中には、孤独に子育てをして、悶々と悩んでいるお母さんもいるようです。子育ての悩みはつきることがありません。しかも、子育ての悩みは、どんどん変わっていきます。生まれたときは、「体重が増えない」という悩みだったのに、「寝返りが遅いわ」「夜泣きがひどくて、大変よ」「いやいやばかり!」「お友だちのおもちゃを取ってしまおうの」などなど、いろいろな悩みや問題が変化していくのが、子育てなのです。

ですから、私たちは、助け合わないといけません。お母さん同士で悩みを分かち合えば、気持ちも軽くなりますし、いい子育ての知恵も教え合うことができます。「いつもお母さん」には、支え合う仲間が必要です。「子育て広場」で、いろいろなお母さんたちの悩みを聞いてきましたが、私は決して答えを出しません。お母さん同士が、楽しく、共感してお話し合いができるよう、ファシリテーター役として、仲間に入れてもらっています。時には、自分の子育て時代の失敗談を話したりしながら。

この本で、全国の頑張っている「いつもお母さん」たちを応援できれば、こんなに嬉しいことはありません。